

荒井湯

Araiyu
(東京都墨田区)



外観

今回紹介する銭湯の荒井湯は、春日通りに面した破風造りの古い銭湯だ。

下駄箱の上には、珍しいコテ絵を見ることが出来る。左官職人入魂の作だ。

中に入ると、伝統的な番台、格天井の脱衣室がある。番台に座るご主人は親切で気さくな方だ。お遍路巡りのスタンプを求めると、何と二色刷りでスタンプを押してくれる銭湯はそうはないのではないか。

荒井湯の最大の特徴はそのペンキ画であろう。女湯のペンキ画は赤富士、男湯のペンキ画はなんと東京スカイツリーである。見れば、「2009 ナカジマ」と書かれている。2009年と言えば、まだスカイツリーの全貌が建ち上がっていない頃の作品である。時

代を先取りした題材の注文に、絵師の中島氏も戸惑ったに違いない。

推測だが、絵師にしてみれば、直線的なスカイツリーの絵は、描くのが相当難しかったのではないだろうか。なにしろ、絵師は下書きも定規も使用しないで絵を描くものだ。ご主人の注文に中島絵師は見事に応えた。

スカイツリーはペンキ画だけではなく、たくさんの写真としても壁に貼られている。私のお気に入りには、スカイツリーをバックにして、踏切を通り過ぎる東武の特急列車を写した作品だ。この作品は傾いた構図がよい。天を突きさすスカイツリーと、駆け抜ける特急列車が競い合うような効果を生み出している。

浴室はシンプルだが充実している。湯船は3つの温度を楽しめるようになっている。高温風呂の薬湯（本日は漢方の湯）、中温の座風呂、バイブラ、ゲルマニウム温浴、低温風呂がある。すべての温度計が42℃を示しているが、明らかに体感温度は異なる。高温風呂は45℃以上、中温風呂は適温、低温風呂はやや低めだ。

洗い場は21か所。シャワーブースは2か所ある。

荒井湯は「下町の健康ランド」を標榜している。実際に常連客の中には、浴室内でストレッチをしている人がいた。座風呂は2人分あるが、水流の位置が異なっているため、ニーズに合わせた使い方ができる。3つの温度の浴槽の楽しみ方は人それぞれであろう。低い方から攻めるもよし。逆に高

い方から攻める方法もある。私は中温と低温の2つだけで満足した。

冬の間は目立たないが、荒井湯の脱衣室には坪庭もある。池にはコイが悠々と泳いでおり、藍色のタイルが敷き詰められた涼しげな縁側がある。脱衣室のロッカーは38個。骨董級のマッサージ椅子もある。

ご主人によれば、近々ペンキ画を描き換えるのだという。題材はもう決まっているそうだ。詳しく知りたい人も、今のうちにスカイツリーのペンキ画を見ておきたい人も、ぜひ荒井湯を訪れてほしい。

- 名称：荒井湯
- 所在地：東京都墨田区本所 2-8-7
- 電話：03-3622-0740
- 営業時間：15:30~24:00
- 定休日：毎月6日、16日、26日（日曜日、祝日、金曜日の場合は翌日休）
- 入浴料：大人 450 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円
- サウナ：なし
- テレビ：なし
- 取材日：2012 年 2 月 13 日（月）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部



コテ絵 1



コテ絵 2